



【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで明るく、たくましく生きる生徒の育成

【キーワード】考え動く・・・『考動』

文責：湊口

☆立ち上がり、歩み出す☆

2024年は『甲辰』年です。甲は、物事の始まりの、辰は、「昇り龍」等、勢いよく活気にあふれた様子を意味しています。従って、『甲辰』は、「新しいことに挑戦して成功する」「これまで準備してきたことが形になる」等、大変縁起の良い年になると一般的に言われています。3年生にとっては・・・と、始業式では話そうと準備していました。しかし、1月1日16時10分の大きな揺れで、世の中が一変してしまいました。そこから、今日までの学校の取組状況及び生徒の様子は、中学校HP上にて「学校だより 特別緊急号」「校長室より」を掲載し、お知らせしてきました。

さて、この未曾有の災害に遭遇し、これまでの想定をはるかに超えた現実に、生徒の安全を確保し、同時に学びを止めないための工夫をすることに、教職員が一丸となって取り組みました。正に、知恵とマンパワーの結集だったと思います。同時に、教職員の生徒に対する強い愛情も感じられました。家庭にある資源を持ち寄り生徒の生活水を確保する等、生徒の顔を思い浮かべながら、体を動かす先生達の背中を大変たくましいと思いました。学校が行った取組や準備は、正解かはわかりませんが、今日的な課題である、答えのない問題を解くように求められているように感じました。

本校では、1月15日(月)から、3年生対象に学習の場の確保のための教室開放と質問教室の実施、そして、1月22日(月)からの学校再開で、避難や交通状況の事情で、オンラインでの登校になっている生徒もいますが、生徒の元気な顔を見ることができ、大変うれしく思いました。

学校の再開は叶いましたが、断水や暖房の故障、給食の確保、そして登下校の交通機関の確保等、問題は山積しています。年度末を迎えるにあたり、履修漏れのないようにするため、40分間の授業に指導内容を詰め込んでの学びのスタイルになりました。主体的な生徒の育成を目指していた本校にとって、真逆の指導方法です。また、集中して、考えながら聞かなければならない生徒にとっては、大変疲れる授業時間になると思います。(40分間だけど、グッタリするはず・・・)一日でもはやく、通常の学校に戻れるように、職員一丸となって頑張ります。

☆生徒の『心の健康』☆

学校再開にむけて、生徒の「心の健康」が大変心配になりました。本校教育相談担当の教諭を中心に、先進の取組を参考に、アンケートや個人面談の準備をしました。その後、京都市のSC(スクールカウンセラー)災害支援チームのお力を借りて、再度、個人面談を行いました。学級担任との面談では、「大丈夫です」と言っていた生徒でも、音に敏感に反応するようになった、少しの揺れにも不安になる、寝付けない、目が覚めやすい等の声が聞かれました。

SCの先生のお話では、大地震後の正常な反応だそうで、生徒に対しては、リラックスできる呼吸法について指導してもらい、教職員には「普段どおり」楽しく安心感を与えるようにすることや、短期の治療的な効果は低く、半年程度かかると助言をもらいました。京都弁の話し方も、生徒には安心感を与える時間になったのではと思います。

SCの先生によると、必ず問う質問事項に、「話せる大人の人はいますか」というのがあり、生徒のほとんどが『親』と答えたそうです。普段勤務しているところでは、聞くことのない答えて、家族の絆の強い地区であることが伝わったとおっしゃっていました。本当にありがとうございました。



☆学校の段階的な再開についてのお願い☆

1 小学校との校舎の共用について

地域の避難所として開所した中島小学校は、学校としての機能を発揮しにくくなったため、中学校の空き教室を活用して学校を再開させました。中学生との接触も有り、互いに気を遣うこともありましたが、ノーチャームで思いやりの気持ちをもちながら、すごすことができました。小学校は、学校と避難所の区域分けが明確になり、もとの教室の状態に戻り次第、小学校に戻ることにあります。この間、送迎時等、ご協力ありがとうございました。

2 中学校の日課の段階的な変更について

中学校の授業時間について、段階的に通常日課に戻していきます。

【第1段階 1月22日(月)～】40分4限で授業実施

【第2段階 2月 5日(月)～】45分6限授業とし、授業を午後まで拡大

【第3段階 2月 中旬～ 】50分6限授業実施、授業以外で短縮を図る

【第4段階 ライフライン、交通機関等が復旧後】通常の日程

※この期間も、ライフラインや交通機関が復旧していないことから、登校ができない生徒は、オンラインでの授業参加が可能です。参加者は、学校でチェックします。

※部活動については、学校施設及び中島体育館の復旧を鑑みて決定する。

3 学校給食の段階的な再開について

給食センターの被災状況から、通常の給食供給が難しくなっています。

市教委からは、2月7日(水)より、簡易的な昼食(おにぎりまたはパン、牛乳、デザート等)の供給開始の案内がありました。供給開始前の2日間は、保護者の皆様に負担をかけますが、簡単な弁当(おにぎりまたはパン、おかずなし)を各自持参で進めたいと思います。

現在のご家庭の状況で、お弁当を準備することが難しい場合は、これまでどおり、午前での下校となってもかまいません。学級担任に申し出てください。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

4 中学校の日常の様子について

中学校における、学校生活を送るための工夫や生徒の活動の様子を「学校だより 特別緊急号」「校長室より」にてお知らせしています。校長の視点で取材しているので、わかりにくいところもあるかもしれません。HPに掲載していますので、ご覧ください。

※すき間時間で校舎をまわっていますので、不定期の発行になりますこと、ご了承ください。

5 中学校の学校運営に関する要望について

段階的な学校再開を目指し、活動していますが、ご家庭の事情等で困ったことがあった場合は、遠慮なく学校へ相談してください。学校からのお知らせは、メール配信及び中学校HPに関連の便りをアップしてお知らせするようにしています。ご理解、ご協力をお願いします。

※2月5日以降も、送迎や様々な家庭の都合で、学校の日課等と合わない場合、また心配なことがあるときは、学校または学級担任に申し出てください。

3年生の本格的な高校入試が始まりましたね。人生の「未来予想図」は、常に変更しながら進むことが多いですが、目的意識をもつことは重要なことです。自分の人生だから、自分で決めたり、納得したりすることが大切です。

Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

